

DVD-V/VCD/CD/MP3/WMAチューナー メインユニット
DVH-PO77

取付説明書

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

* 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も合わせてご覧ください。

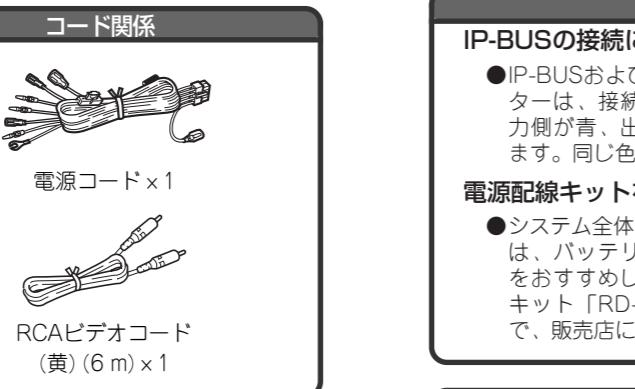
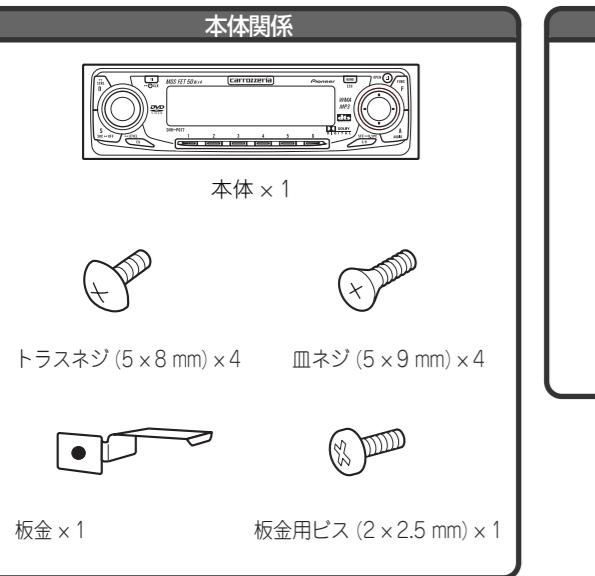


この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

はじめに 1 接続・取り付け部品を確認する



接続のポイント

IP-BUSの接続について

- IP-BUSおよび光デジタルラインのコネクターは、接続に間違いがないように、入力側が青、出力側が黒に色分けされています。同じ色どうしを接続してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

- コネクターは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

接続上のご注意

- 本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの(-)リード線を、共通にして接続しないでください。

- 赤リード線(アクセサリー電源)は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

- 黒リード線(アース)は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。(ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。) 詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

- ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線(オートアンテナ)に接続してください。接続を忘れるときラジオが受信できません。

- 本機に組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。

- 若草色のリード線(パーキングブレーキスイッチ)は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと、DVDビデオやテレビなどの映像を見ることができなくなります。

- パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。(ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。) 詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ミュート
パイオニア製のナビゲーションシステムなどの別売製品と組み合わせるときに、本機の音量をコントロールするために使用します。(別売製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に変化します。) 組み合せた別売製品に黄/黒リード線(ミュート用またはセルラーミュート用)がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

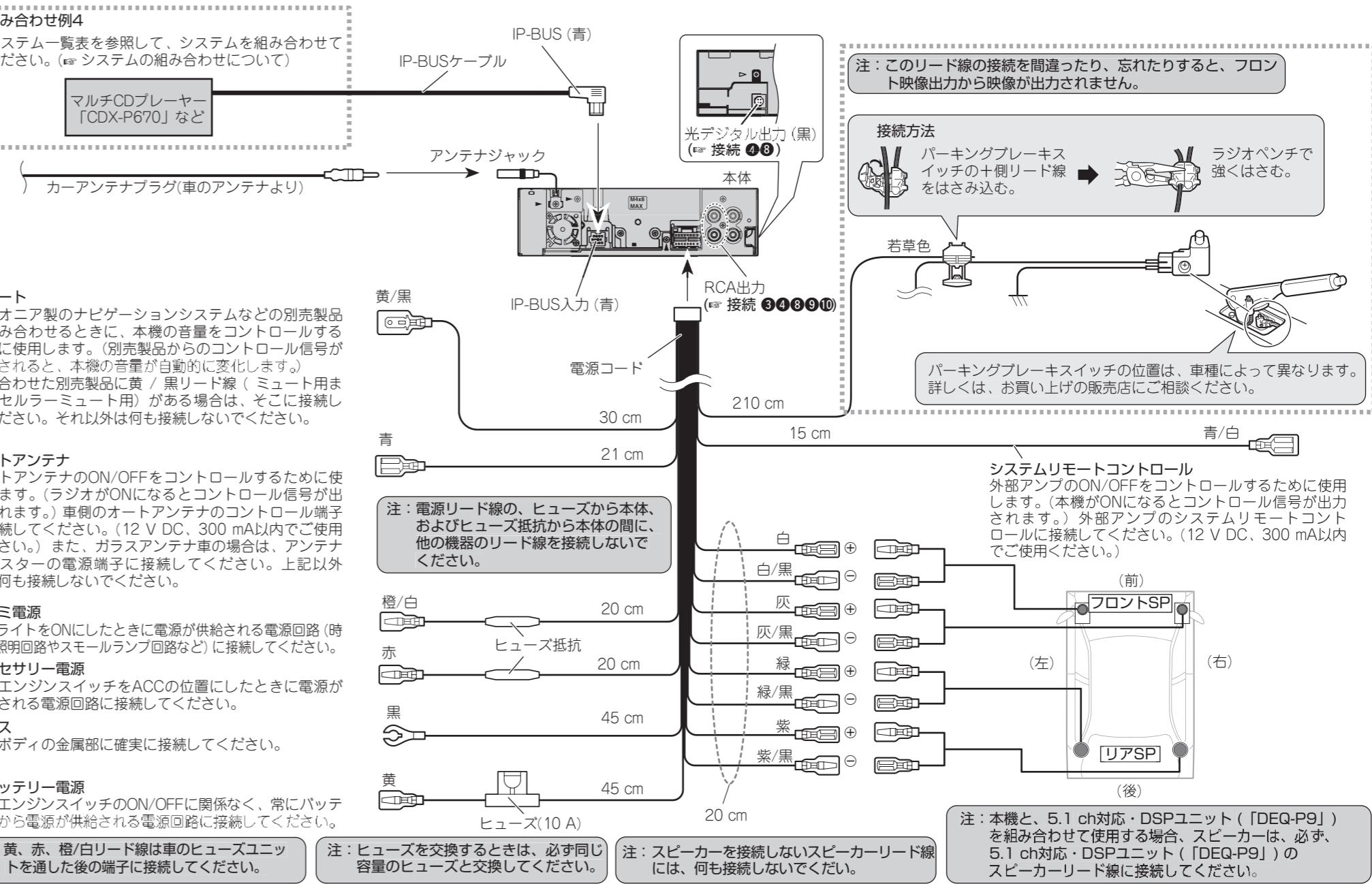
接続の前に知ってほしいこと

接続 1 本機のスピーカーリードにサブウーファーを接続しない場合

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

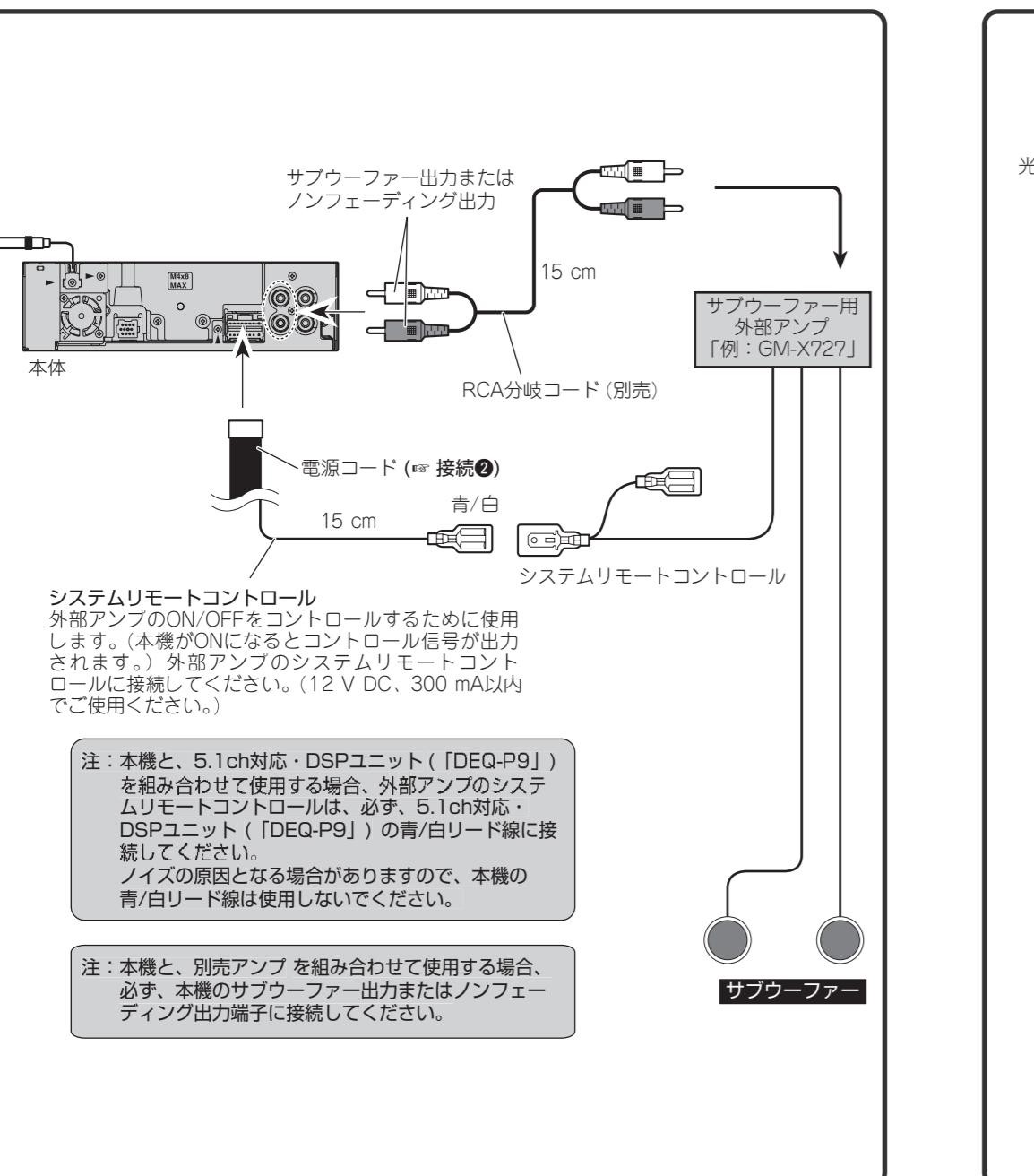
接続 2 本機のスピーカーリードにサブウーファーを接続しない場合

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



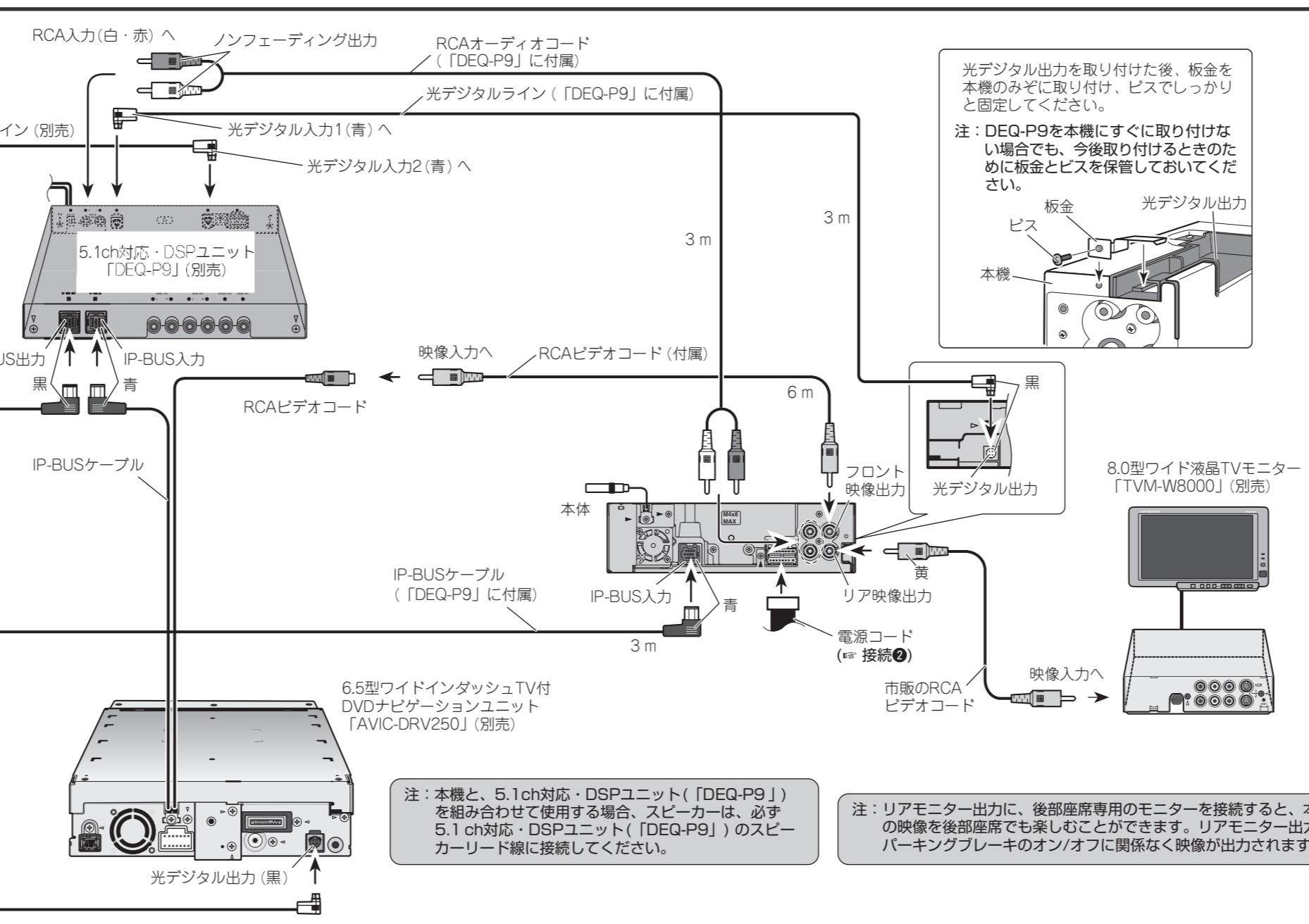
接続
3 別売アンプを使ってサブウーファーを接続する場合

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



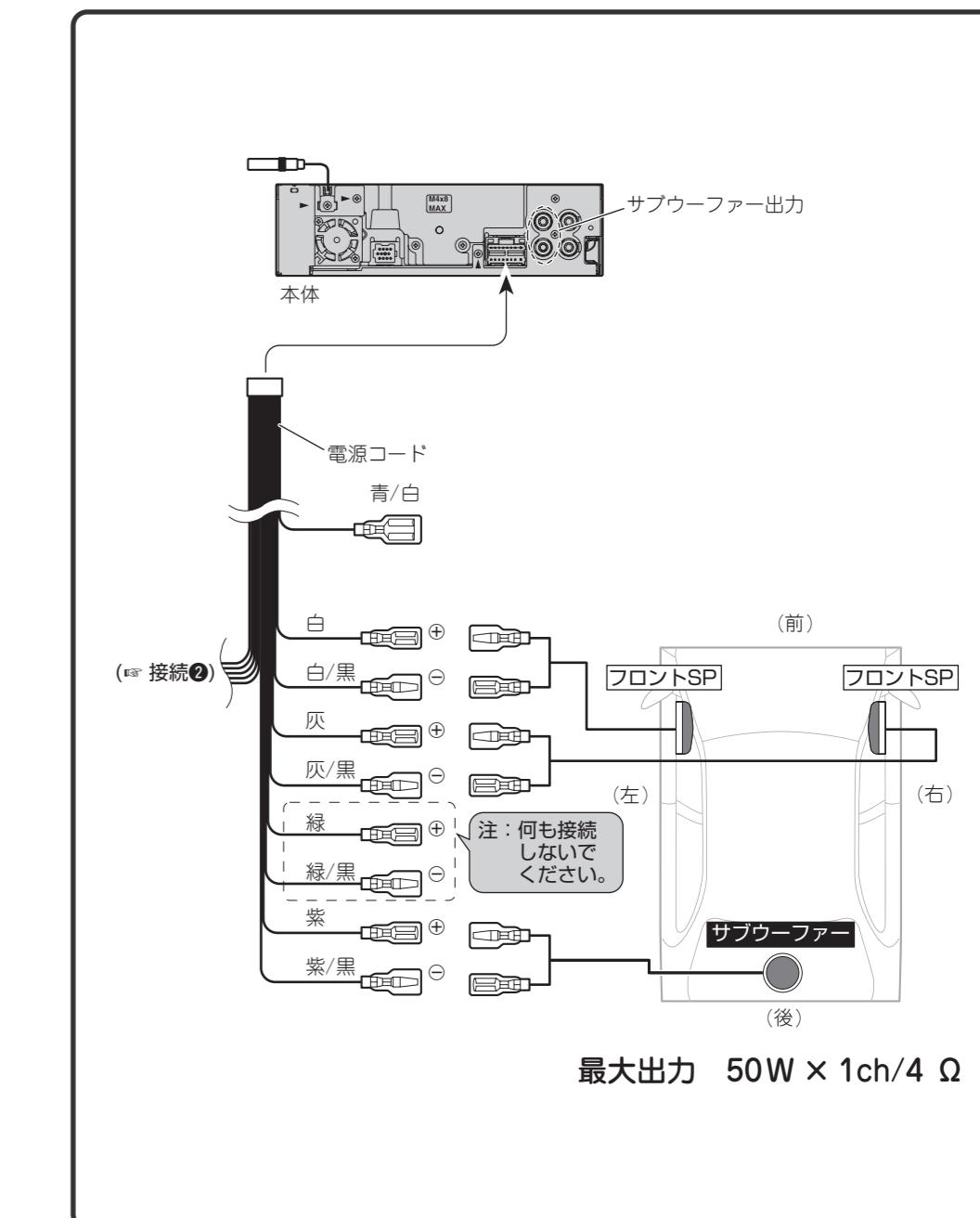
接続
4 システム接続図

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



接続
5 本機のスピーカーリードにサブウーファーを接続する場合 (1)

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

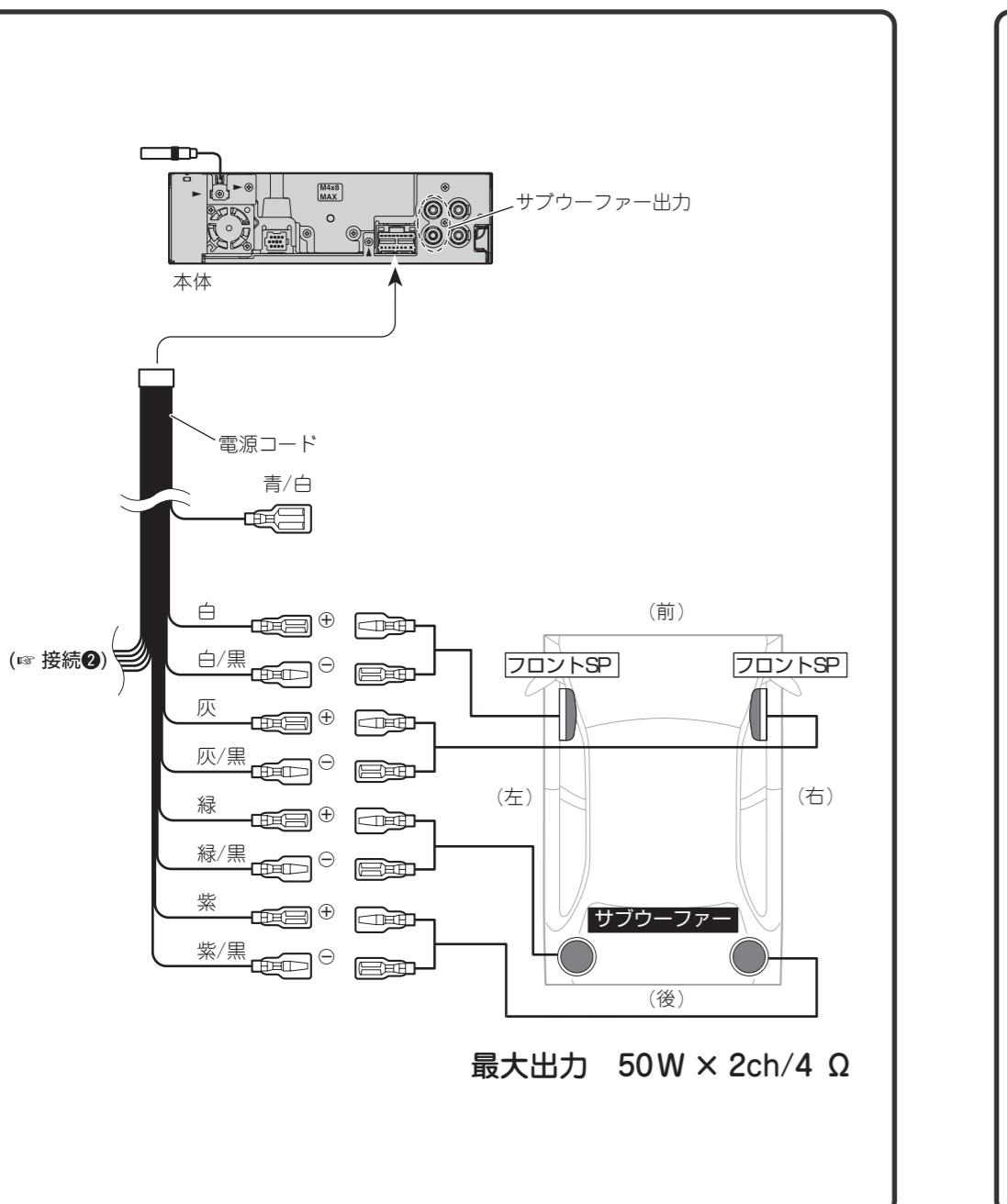


接続

6

本機のスピーカーリードにサブウーファーを接続する場合(2)

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

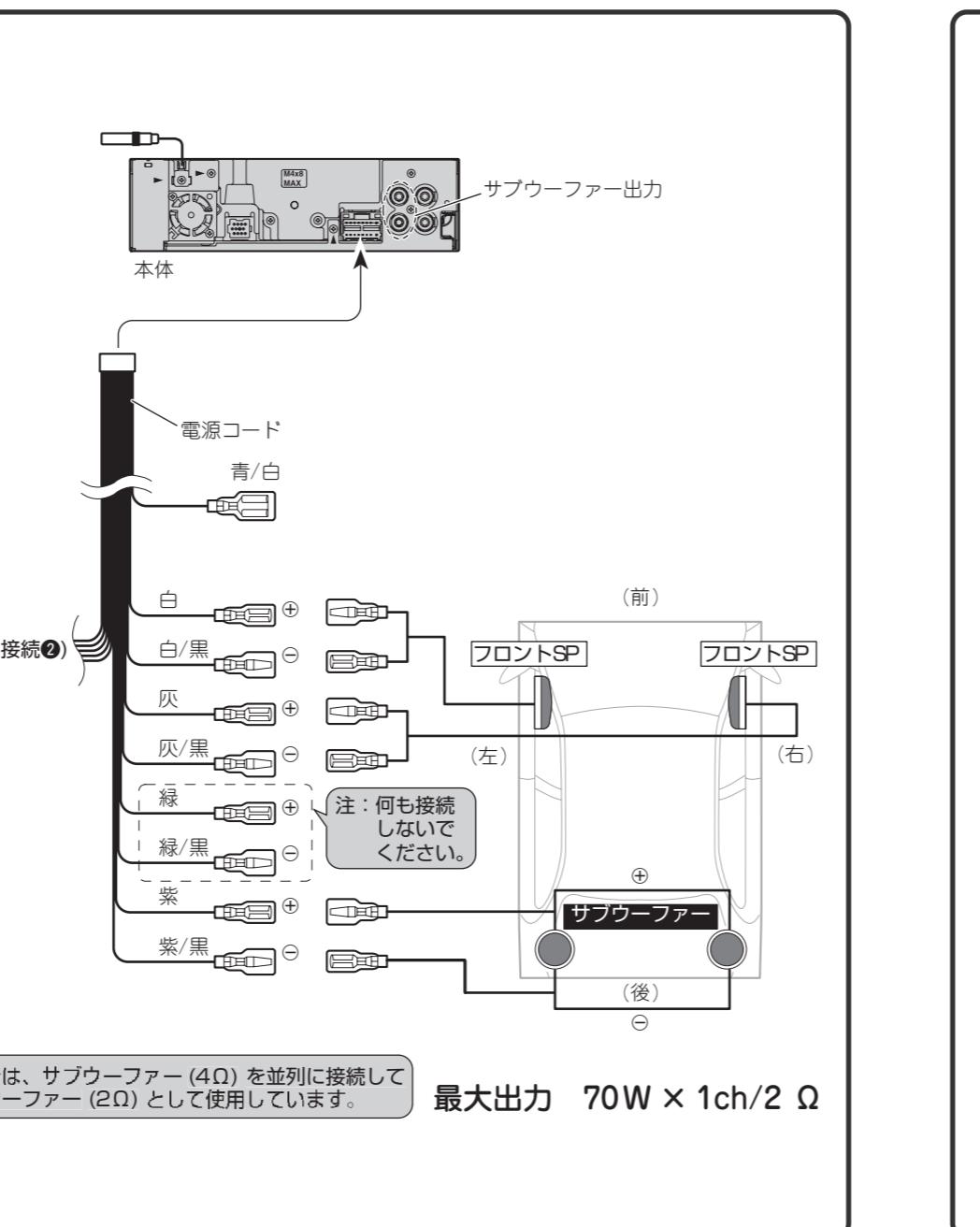


接続

7

本機のスピーカーリードにサブウーファーを接続する場合(3)

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

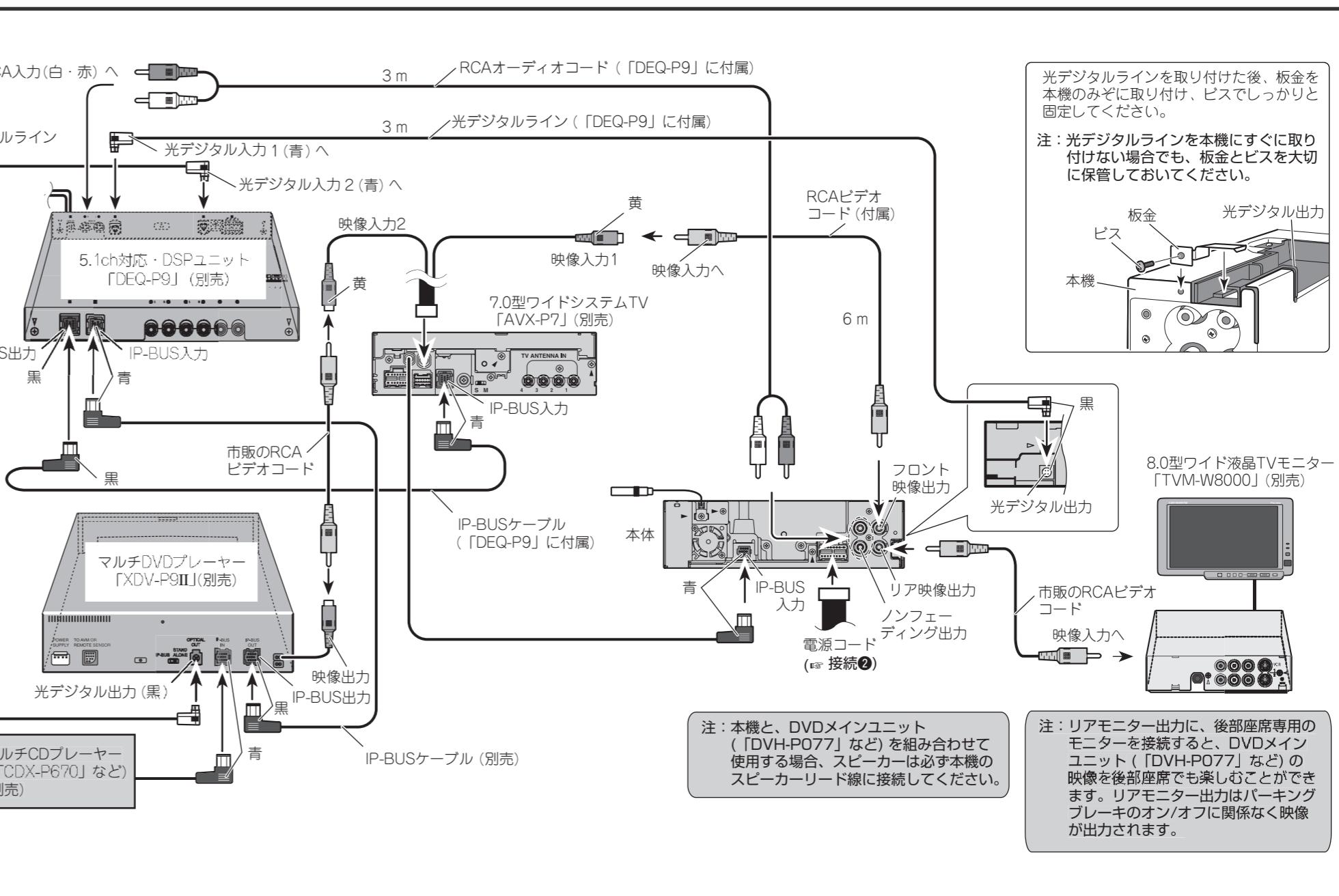


接続

8

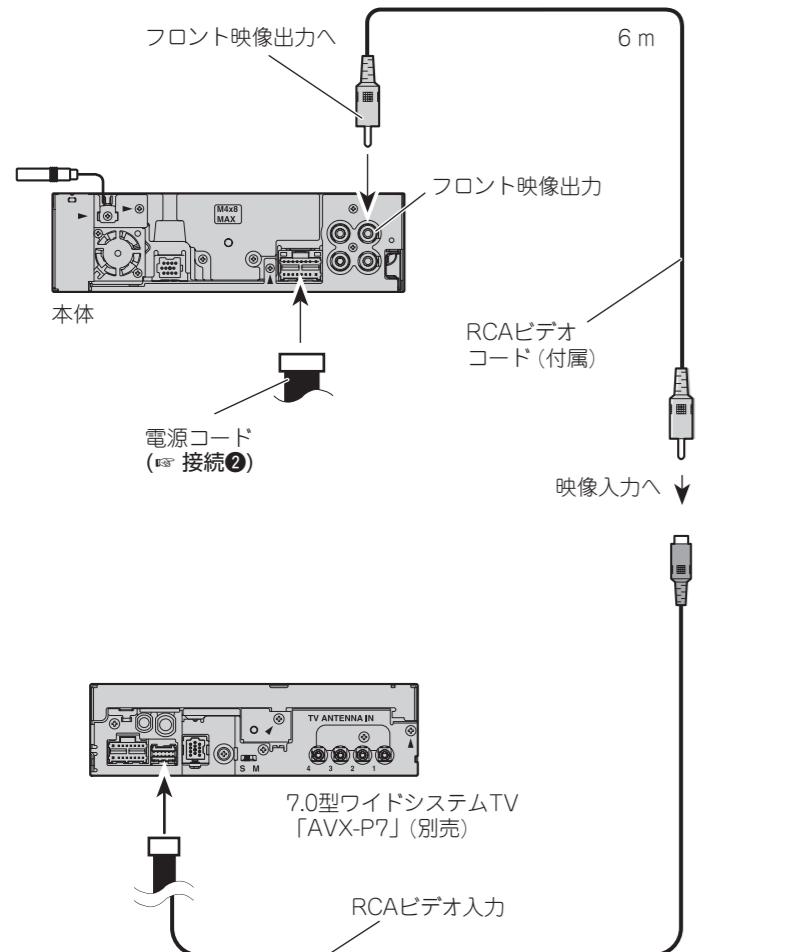
システム接続図

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



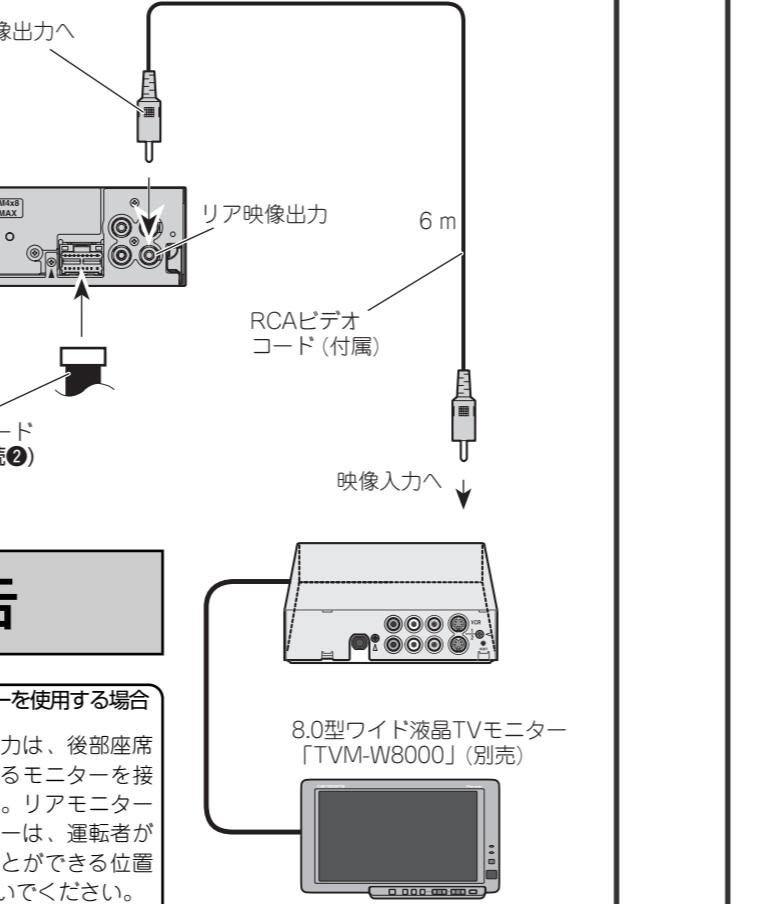
本機のRCA端子を使ってフロントモニターを接続する場合

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



本機のRCA端子を使ってリアモニターを接続する場合

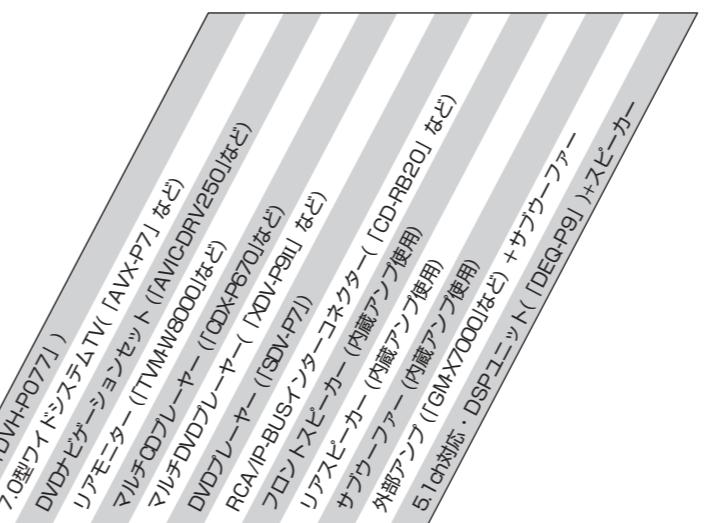
—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



システムの組み合わせについて

システム一覧表

このシステム一覧表は、カーステレオの取り付け位置（コンソール）にDサイズで2台分の取り付けスペースのある車種が対象です。2台分の取り付けスペースがない車種や、3台分まで取り付けスペースがある車種のシステムについては、お買い上げの販売店にご相談ください。



○印：
組み合わせて使用することができます。

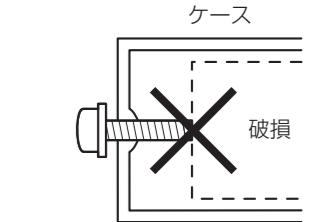
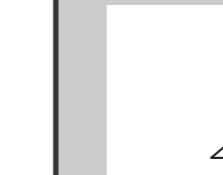
△印：
組み合わせて使用すると、外部機器(DATやVTRなど)の音声を聞くことができます。

組み合わせ例1
組み合わせ例2
組み合わせ例3
組み合わせ例4
組み合わせ例5
組み合わせ例6
組み合わせ例7

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して40度以内の角度で取り付けてください。



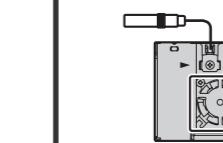
取り付けのポイント

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア取付キットを使用しないことがあります。当社では車種別専用取付キットを用意しておりますので、販売店にご相談ください。

本機の放熱を妨げないために

- 本機は冷却効果を高めるため、冷却ファンを使用しています。このため、コード類は、下図の部分をふさがないように配置してください。

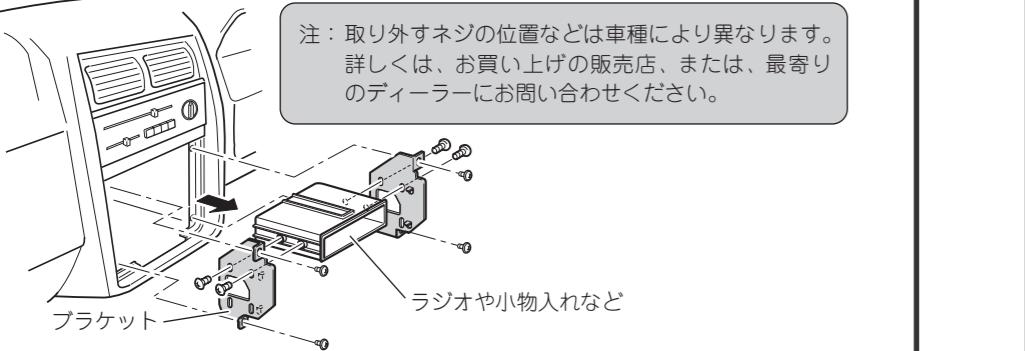


本体を取り付ける

取り付け例(トヨタ車、日産車への取り付け)

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めていたプラケットを取り外します。
そのプラケットを使用して、本機を取り付けます。

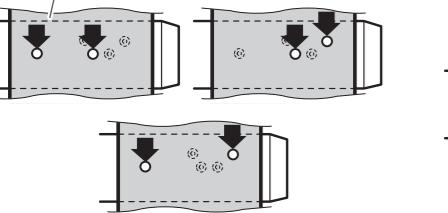


2 ネジ止めする位置を確認する

プラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。
プラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

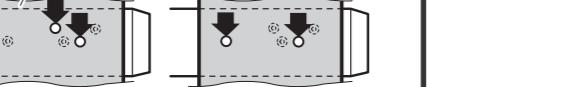
■トヨタ車の場合

トヨタ車プラケット



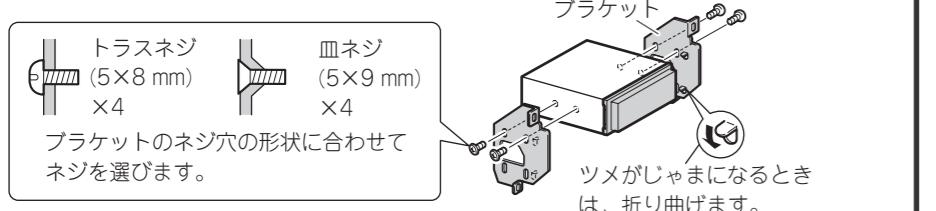
■日産車の場合

日産車プラケット



3 プラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクターは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

3 本機の動作を確認する

(☞ 取扱説明書)

2 車のエンジンをかける

